

くろしお協力隊に聞く



【今月の担当者】
地域おこし協力隊
（情報発信コーディネーター）
にしかわ たいご
西川 太悟

Q 着任して約8カ月が経過しますが、仕事には慣れましたか？

A 大分慣れてきて、仕事の要領も掴めてきたと感じます。最初は町を知ることから始まり、徐々に仕事の幅が広がってきました。季節に合わせた町での旅行のモデルになる「女子旅」の企画映像や、町のイベントの映像を制作したり、楽しく仕事をさせていただいています。こうした企画だけではなく、町の自然に焦点を当てた映像も今後作っていきたいですね。自然や人の優しさを感じたり、アットホームで入りやすいお店が多かったり、仕事のなかで町の魅力に気付けるのは嬉しく、やりがいにもつながっています。

Q 黒潮町の暮らしはどうですか？

A 黒潮町に移住したのは夏になる前だったので暖かかったのですが、冬になると想像していたより寒くて驚きました。夏には川に遊びに行ったり、DIYが好きということもあり、サウナを作ったりもしましたね。今年の夏はサーフィンにチャレンジしたいと思っています。また、地区の集まりに参加しているうちに地域の方に顔と名前を覚えてもらえて、ご近所付き合いも心地よく、より肩の力を抜いて生活できるようになりました。少しずつ町にも馴染んできたなと感じています。

Q 協力隊の任期終了後は何か考えていますか？

A 若い人や町に興味がある人がふらっと立ち寄って、町の暮らしを体験できる場所を作りたいと思っています。使われなくなったものに付加価値を与えて再生する「アップサイクル」の循環が進むようなコミュニティ施設を作って、自然に優しく、いろんな方が交わって暮らしていける場所を作りたいです。



撮影をする西川さん

協力隊から一言！

面白い場所や良い景色のある場所など、発信してもらいたい情報などがあればぜひお寄せいただけたら嬉しいです。

Kramer's Corner クレマのコーナー



今月のテーマ テキサスの独立記念日

3月2日はテキサスの独立記念日です。テキサスは今アメリカの1州ですが、昔はそうではありませんでした。200年前はメキシコの一部でした。でも、メキシコ政府に不満を持ったテキサス人は革命の戦争を始め、1836年3月2日にテキサス共和国として独立を宣言しました。テキサスはメキシコと半年ぐらい戦い、1836年の4月にメキシコ軍を倒し独立した国になりました。テキサス共和国は9年存在し、やがてアメリカの28番目の州になりました。

テキサス独立戦争の一番有名な戦いはアラモの戦いです。そこでテキサスの兵士がメキシコ軍に負けましたが、彼らの勇気と犠牲に多くの人が感動しテキサス軍に入り、この戦いは戦争の節目となりました。戦闘の舞台となったアラモ伝道所は現在テキサスのサンアントニオ市に遺跡があり、テキサスの象徴として世界中に知られ、毎年400万人以上が訪れます。

テキサスの独立記念日は、多くのアメリカ人はいつか知らないかと思いますが、テキサスの子どもたちは必ず教わります。州の中学2年生は全員テキサス・ヒストリーという授業を受け、1年間テキサスの歴史を勉強します。

そして、たくさんのテキサス州の公務員にとって休日だから、家の庭でバーベキューなどをし、多くのテキサス人が楽しく祝う日です。



現代のアラモ

今月の使える！英語

March comes in like a lion
and goes out like a lamb.

3月のことわざ。「3月のはじめにはライオンのように荒れた天気が多いですが、終わりのほうは子羊のように穏やかな天気になる」という意味です。

